

駅南だより

Vol.5

〈今月のテーマ〉

平成21年12月号
市川駅南口図書館

今年一年を振り返って

2009年の主な出来事を関連図書とともにご紹介してまいります。

I. 裁判員制度開始

裁判員制度は5月21日に施行され、8月3日に東京地方裁判所で初公判が実施されました。裁判員制度が適応される事件は地方裁判所で行われる刑事裁判（第一審）のうち、殺人罪、傷害致死

罪、強盗致死罪、現住建造物等放火罪、身代金目的誘拐罪など、一定の重大な犯罪についての裁判です。



『これ一冊で裁判員制度がわかる』	読売新聞社会部裁判員制度取材班/著	中央公論新社	327.6/コ
『知る、考える裁判員制度』	竹田 昌弘/著	岩波書店	327.6/タ
『よくわかる裁判員制度と刑事訴訟のしくみ』	藤田 裕/監修	三修社	327.6/ヨ

II. サッカーワールドカップアジア代表に決定

サッカーワールドカップ (FIFA) は、2010年南アフリカで開催されます。出場全32チームが決定し、12月4日に組み合わせ抽選会が開かれました。

アジア枠からは日本のほか韓国・北朝鮮・オーストラリアが出場します。



『サッカーW杯 (ワールドカップ) 英雄たちの言葉』	中谷 綾子アレキサンダー/著	集英社	V783.4/ナ
『日本サッカーと「世界基準」』	セルジオ越後/著	祥伝社	V783.4/エ
『1番になれるサッカー上達テクニック』	川崎フロンターレ/監修	成美堂出版	H783.4/イ

III. 総選挙で政権交代

8月30日に実施された総選挙で民主党が308議席を獲得し、衆議院の第1党となりました。自民党は、1955年の結党以来初めて衆議院の第2党にな

りました。9月10日の臨時国会で鳩山由紀夫氏が第93代内閣総理大臣に就任しました。



『政権交代の法則 派閥の正体とその変遷』	草野 厚/著	角川書店	V312.1/ク
『2大政党制は何をもたらすか 日本の大変革への道』	川上 和久/著	ソフトバンク	V312.1/カ
『日本の政治がよ〜くわかる本』	辻 雅之/著	秀和システム	312.1/ツ

IV. 台風18号、2年ぶりに日本上陸

9月29日、南太平洋上で発生した台風18号は、西北西に進路をとり、10月7日に日本に接近しました。南西諸島の東の海上で進路を北東に変え、10月8日早朝に愛知県の知多半島から2年ぶりに上陸、

本州中央を北東に縦断して被害をもたらしました。日本に接近して上陸するまでは昭和34年の伊勢湾台風とほぼ同じコースをたどりしました。



『最新 天気がよ〜くわかる本』	岩槻 秀明/著	秀和システム	451/イ
『よくわかる気象のしくみ』	青木 孝/監修	ナツメ社	451/ヨ
『面白いほどよくわかる気象のしくみ』	大宮 信光/著	日本文芸社	451/オ

V. 新型インフルエンザが再び猛威

厚生労働省は8月19日、新型インフルエンザが流行期に移行したとの見解を示し、事実上の流行宣

言を表明しました。11月に入りさらに感染は拡大し、学校閉鎖、学級閉鎖が相次いでいます。

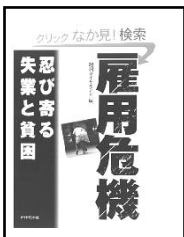


『殺人ウイルスの謎に迫る！ 新型インフルエンザはどうして危険なのか？』	畑中 正一/著	ソフトバンククリエイティブ	V491.7/ハ
『新型インフルエンザ 世界がふるえる日』	山本 太郎/著	岩波書店	V493.8/ヤ
『新型インフルエンザから家族を守る18の方法』	大槻 公一/編著	青春出版社	V493.8/オ

VI. 完全失業率が増大

10月の労働調査によりますと、完全失業者数は344万人で、前年同月に比べ89万人の増加となり、12ヵ月連続の増加となっています。また、完全失業

率は5.1%ですが、15~24歳が全体の9.8%を占め、年齢層別で最も高くなっています。



『日本の盛衰』	堺屋 太一/著	PHP 研究所	V332.1/サ
『労働ビッグバン これ以上、使い捨てにされていないのか』	牧野 富夫/編著	新日本出版社	J366.0/マ
『雇用危機 忍び寄る失業と貧困』	週刊ダイヤモンド/編	ダイヤモンド社	J366.2/コ

VII. 太宰治、松本清張生誕100年

作家の太宰治と松本清張は1909（明治42）年に生まれました。太宰治は青森県津軽地方に生まれ育ちました。太宰文学は没後60年を経た今で

も、新たな読者を獲得しています。松本清張は広島県に生まれ、九州で育ちました。作家生活40余年、その作品は長篇、短篇あわせて一千篇に及びます。

『走れメロス』太宰治/著 角川書店 B913.6/ダ
『点と線』松本清張/著 新潮社 B913.6/マ

『斜陽』太宰治/著 新潮社 B913.6/ダ
『砂の器』上・下 松本清張/著 新潮社 B913.6/マ

VIII. 村上春樹『1Q84』がベストセラーに

村上春樹は1949(昭和24)年京都に生まれました。1979(昭和54)年に『風の歌を聴け』で群像新人文学賞を受賞してデビューしました。1987(昭和62)年に発表した『ノルウェイの森』がベストセラーにな

りました。今回、7年ぶりの長編小説『1Q84』が出版されると220万部を超えるベストセラーになっています。



『1Q84 a novel BOOK1,2』	村上 春樹/著	新潮社	913.6/ム
『ノルウェイの森』上・下	村上 春樹/著	講談社	B913.6/ム
『海辺のカフカ』上・下	村上 春樹/著	新潮社	B913.6/ム

【各コーナーも充実】

《ビジネス支援コーナー》

『ケインズ』 R.スキデルスキー著 岩波書店 J331.7/ス



メイナード・ケインズは1883年イギリスに生まれ1946年に没するまで、経済・政治を中心に幅広い分野で活動しました。その主著『雇用・利子および貨幣の一般理論』

をはじめ、『講話の経済的帰結』、『貨幣論』などを出版し、ケインズ理論として近代経済学に大きな役割を果たしました。

第二次世界大戦後ケインズの理論と思想は、現実の経済と政治の動きに決定的な影響を及ぼし、経済理論と経済政策におけるケインズ革命という言葉が完全に定着してきました。しかし、激動期あるいは歴史的な転換期といわれる今日、このケインズの理論と思想に対する再評価が真剣に進められています。本書はケインズの生涯、経済理論・行動を描いた評伝で、原書は1996年に出版されたものです。

《健康医療情報コーナー》

『図解新型インフルエンザ対策Q&A』 亀田 高志著
エクスナレッジ H493.6/カ



今年春に流行を開始した新型インフルエンザは、夏から秋にかけて再び猛威をふるっています。本書は、2009年9月までの段階で分かってきた情報と、著者が新型インフルエンザ対策に関する企業向けのコンサルティングや、経営層や管理職、従業員への研修を行う過程で得たノウハウを、Q&A方式で、図も用いて、ビジネスパーソンをはじめとする一般向けに解説してあります。

以下、一例を挙げます。

Q「インフルエンザウイルスとはどのような生き物でしょうか？」

A「ペスト菌や結核菌などの細菌とは異なり、非常に単純な構造の遺伝子と殻をもつだけの、とても小さな生き物です。」

Q「職場で新型インフルエンザ対策を行う目的や目標は何でしょうか？」

A「目的は事業への影響の最小化、目標は従業員への感染の拡大を遅らせ、感染のピークを抑えることです。」



《所蔵雑誌紹介》

『明日の友』 婦人之友社 秋 182号



『明日の友』は、中高年の生活と健康を考える内容の特集している雑誌です。また、多くの方々からの投稿を掲載しています。今回の特集は、「気持ちを伝える人生最後への準備」です。「必要事項を1冊にエンディングノートにまとめおく」「身辺整理はどうするか？」

「遺言・すてきな遺影・死後の手続き一覧」などが掲載されています。また、健康特集としては、「脳卒中」の再発を防ぐにはどうしたらよいかを取り上げています。その他、対談としては、「ゴリラに学ぶ」。紀行としては、「あかねさす大和平野を歩く」が掲載されています。中高年の生活を考える上で、幅の広い視野に立った内容豊富な雑誌です。



駅南だより

12月(2009)

1月(2010)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	⑦ 休館日	8	9	10	11	12
13	⑭ 休館日	15	16	17	18	19
20	⑳ 休館日	22	23 天皇誕生日	24	25	26
27	㉘ 休館日	㉙ 休館日	㉚ 休館日	㉛ 休館日		

日	月	火	水	木	金	土
					① 休館日	② 休館日
③ 休館日	④ 休館日	5	6	7	8	9
10	11 成人の日	⑫ 休館日	13	14	15	16
17	⑮ 休館日	19	20	21	22	23
24	㉔ 休館日	26	27	28	㉙ 館内整理日	30
31						

《12月の展示テーマ》



- ◎「忙しい年末を上手に過ごす」 ～クリスマス・大掃除・年賀状・正月料理・帰省～
- ◎「映画の面白さを再発見する」 ～12月1日は映画の日～



＜開館時間＞	＜休館日＞	○印
平日 9:30～21:00	月曜日	年末年始 (12/28～1/4)
土・日・祝 9:30～18:00	館内整理日	

《時事問題の三二知識》 師走



旧暦12月の和風月名は「師走」。この由来は知っているという方も多いかもかもしれません。

一般的なのは、一年の終わりである12月はみな忙しく、師匠でさえも急いで走り回るといふ意の趨走(すうそう)をするので「師趨」(しすう)となったといわれるもの、また、「師」は法師、つまり僧侶のことで、12月はお経を唱えるために忙しく馳せ走るから「師馳月」(しはせつき)で、それを

略した名称といった考えもあります。

ところが、ほかの説もあります。年を果てるという意味の「年果つる月」が変化したとする説、一年の最後に為し終えるという意味の「為果つ月」(しはつつき)が変化したとする説などもあります。

どの由来が正しいかははっきりしませんが、12月が年末ということで忙しかったのはいまも昔も変わらないようです。

『和のくらし・旧暦入門』 渡邊 秀樹/編 洋泉社 449.3/ワ 参照

編集後記

「今年一年を振り返って」というテーマで12月号を編集いたしました。この一年間に色々な出来事がありました。特に大きな出来事としては、8月の総選挙によって政権交代があったことでしょう。また、ワールドカップの組み合わせで、日本はオランダ、デンマーク、カメルーンと同じE組となりました。

さて、4月に市川駅前に市川駅南口図書館が開館して、はや9ヶ月が経過いたしました。多くの方々に利用していただき、たいへんありがとうございました。来年も「駅南だより」をよろしく願います。なお、次号は2月発行となります。

市川市市川駅南口図書館

〒272-0033 市川市市川南1丁目10番1号
I-Link タウンいちかわザ・タワーズウェスト3階
TEL 047-325-6241

指定管理者 (株) ヴィアックス